共通教養科目　カリキュラムツリー（2026年度以降 第1学年次入学者適用）※保健医療技術学部・看護学部以外

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ

【仏教・自校教育科目群】

- ブッダと法然
- 佛教大学の理念と歴史

【必修外国語】

- IntensiveReading1
- IntegratedCommunicationSkills1
- 中国語1
- 中国語2
- 韓国語1
- 韓国語2
- 日本語1
- 日本語2
- IntensiveReading2
- IntegratedCommunicationSkills2
- 中国語3
- 中国語4
- 韓国語3
- 韓国語4
- 日本語3
- 日本語4
- IntegratedCommunicationSkills3
- IntermediateReading1
- 中国語5
- 中国語6
- 韓国語5
- 韓国語6
- 日本語5
- 日本語6
- IntegratedCommunicationSkills4
- IntermediateReading2
- 中国語7
- 中国語8
- 韓国語7
- 韓国語8
- 日本語7
- 日本語8

【選択外国語】

- GeneralEnglish1
- CommunicationSeminar1
- EnglishLecture1
- 初級英語会話1
- Skill-building（TOEIC500）1
- 初級中国語1
- 初級韓国語1
- 初級ドイツ語1
- 初級フランス語1
- 初級ベトナム語1
- GeneralEnglish2
- CommunicationSeminar2
- EnglishLecture2
- 初級英語会話2
- Skill-building（TOEIC500）2
- 初級中国語2
- 初級韓国語2
- 初級ドイツ語2
- 初級フランス語2
- 初級ベトナム語2
- Skill-building（TOEIC600）1
- 中級中国語
- 中級韓国語
- 中級ドイツ語
- 中級フランス語
- 中級ベトナム語
- Skill-building（TOEIC600）2

【国際教養】

- 異文化への扉　―多文化共生のための外国語―
- 地球人になろう　―グローバリゼーションと文化―
- 英語圏の暮らし
- アジアの暮らし
- 日本事情

【データサイエンス科目群】

- ICTリテラシー
- 統計学の基礎を学ぶ
- プログラミングを学ぶ
- データサイエンスの基礎を学ぶ
- データサイエンスの基礎を実践する

【初年次教育科目群】

- スタディ・スキルズ
- キャリア・スキルズ1
- キャリア・スキルズ2

- 数学の基礎とその活用
- 生体の科学Ⅰ（生物・化学）
- 生体の科学Ⅱ（物理）

【キャリアスタディ科目群】

- マイファーストキャリア
- ライフ・キャリアデザイン
- キャリア形成とマネジメント
- 自己表現とコミュニケーション
- 職業世界を知る
- キャリア実習
- キャリア実習（教職）1
- キャリア実習（教職）2

【プロジェクト科目群】

- プロジェクトA
- プロジェクトB

【自己形成科目群】

（文化と芸術を学ぶ）

- 日本の仏教芸術とその鑑賞
- ことばと文学
- 仏教の人間観と死生観
- 東洋と西洋における思想・哲学・宗教
- 前近代の世界・日本
- 近現代の世界・日本
- 世界の民族文化
- 世界の中の日本文化・京都文化

（地域と社会を学ぶ）

- 日本国憲法
- 世界と日本の政治
- くらしの中の経済
- 個人と社会の関係を考える
- 世界のニュースから見る日本
- 福祉と社会
- 情報・メディアと社会
- 教育事情を知る
- 文化の中から考える多文化共生

（人間と自然を学ぶ）

- 数学の言葉で世界を観る
- 宇宙を考える
- 生物の世界
- 自然と地理
- 生命を考える
- エコロジーを考える
- 心の世界を考える
- 人間の仕組みと活動
- 病と人間の歩み

【スポーツ】

- スポーツ理論
- スポーツ実技

- 各学科の専門科目

卒業認定・学位授与の方針（DP）

（仏教精神）

D1
仏教精神に基づく４つの力、①自分を客観的にとらえる力、②目標に向かって継続し努力する力、③周りの人を思いやる力、④多様性を受け入れて協力する力を身につけ、専攻する学問分野の知識や技能と統合して活用することができる

（知識・理解・汎用的技能）

D2
社会人として必要な幅広い教養や、専攻する学問分野の体系的な理解に不可欠な多様な知識・技能を身につけ、活用することができる

①多文化・異文化に関する知識により、多様な視点で物事を考えることができる

②文化、自然、社会に関する知識により、体系的に物事を考えることができる

③ICT を活用して、多様な情報を収集・分析し、効果的に活用することができる

④自己理解を深め、職業観を持ち、自らのキャリアを決定することができる

D3
専攻する学問分野における専門的な知識や技能を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる

⑤専門領域に必要な基礎的な知識や視点を習得している

⑥専門領域の深い知識や技能を習得している

⑦情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる

⑧社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる

（態度・志向性）

D4
社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、専攻する学問分野で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる

（学びと成長への内発的動機）

D5
目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる